

学級だより

にこにこ

福山市立有磨小学校 2年生

NO.11

2024年(令和6年)9月 2日

楽しかった子どもたちとの出会い

8月の登校日に子どもたちと出会い、子どもたちも私も少し緊張気味の中で、校長先生の話が始まりました。その後、私が自己紹介をし、「花さき山」の絵本の読み聞かせをしました。「自分の事より相手のことを想う優しさ」をもつ子どもたちに育ってほしいという願いをもって読みました。子どもたちは、真剣に聞いてくれていました。最後に「みんなの優しさで、いっぱいの花が咲いたらいいね。」とみんなで確かめ合いました。

夏休みの宿題を集め終わったころ、「先生、何歳？」と、子どもたちから聞かれました。「みんなは何歳だと思う。」と聞き返すと、「60代」「70代」中には、「30代」と答えた子どももいました。「先生は、60代だよ。」と言うと、子どもたちは自分のおじいちゃんやおばあちゃんの年代だと感じてくれました。「先生は、アンパンマンが大好きです。」と言うと、「ぼくもアンパンマン大好き」「わたしも好き」と、ほとんどの子どもたちが好きと答えていました。「お家に帰ったら、どんな先生かお家の人に教えてあげてね。みんなは、どんな先生だとお家の人に教えてあげるの？」と聞くと、「アンパンマンが好きな先生！」と言っていました。子どもたちはどのように私のことを伝えたのでしょうか。短い時間でしたが、子どもたちには、とても親近感を持ちました。

全力で取り組もう



いよいよ、今日から二学期が始まります。二学期は、学習内容が一番多い学期であるとともに、社会見学や学習発表会、創立150周年記念行事、マラソン大会などたくさんの行事があります。友だちのよいところをいっぱい見つけ、みんながどんな時でも楽しく、助け合っていける学級にしていきたいと思います。始業式では、校長先生から二つのことが話されました。一つ目は、奉仕作業のことです。老人クラブの方を中心にお家の人やサッカークラブの人、ソフトボールクラブの人、自主的に参加してくれた人が、草取りや草刈りをしてくださいました。学校が見えるほどきれいなり、二学期を気持ちよく迎えられたことに感謝しましょうと言われました。暑い中での作業はとても大変だったと思います。二年生の中にも作業に参加してくれた人もいました。二つ目は、二学期には多くの行事がある事です。10月には学校創立150年を祝う会があります。いろいろな行事が終わった時、「がんばってよかった。」「やり切ることができた。」と思えるようにしてくださいと言われました。

どんなことでも、自分の力をすべて出し最後まで頑張るという事は、とても大変なことです。時には、「しんどいなあ。」「やりたくないなあ。」と思う時があるかもしれません。「ぜったいできる。」「あきらめないぞ。」という気持ちをもってすれば、きっと最後には、できた喜びで笑顔がいっぱいあふれると思います。だって、みなさんは無限のちからをもっているのですから。